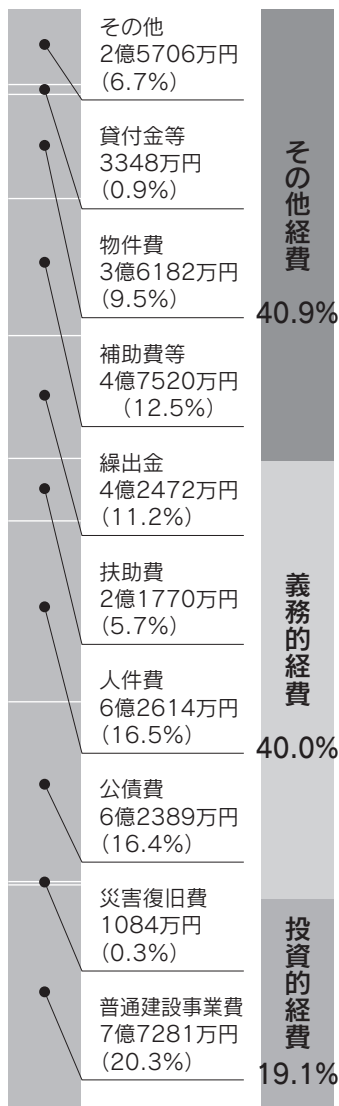


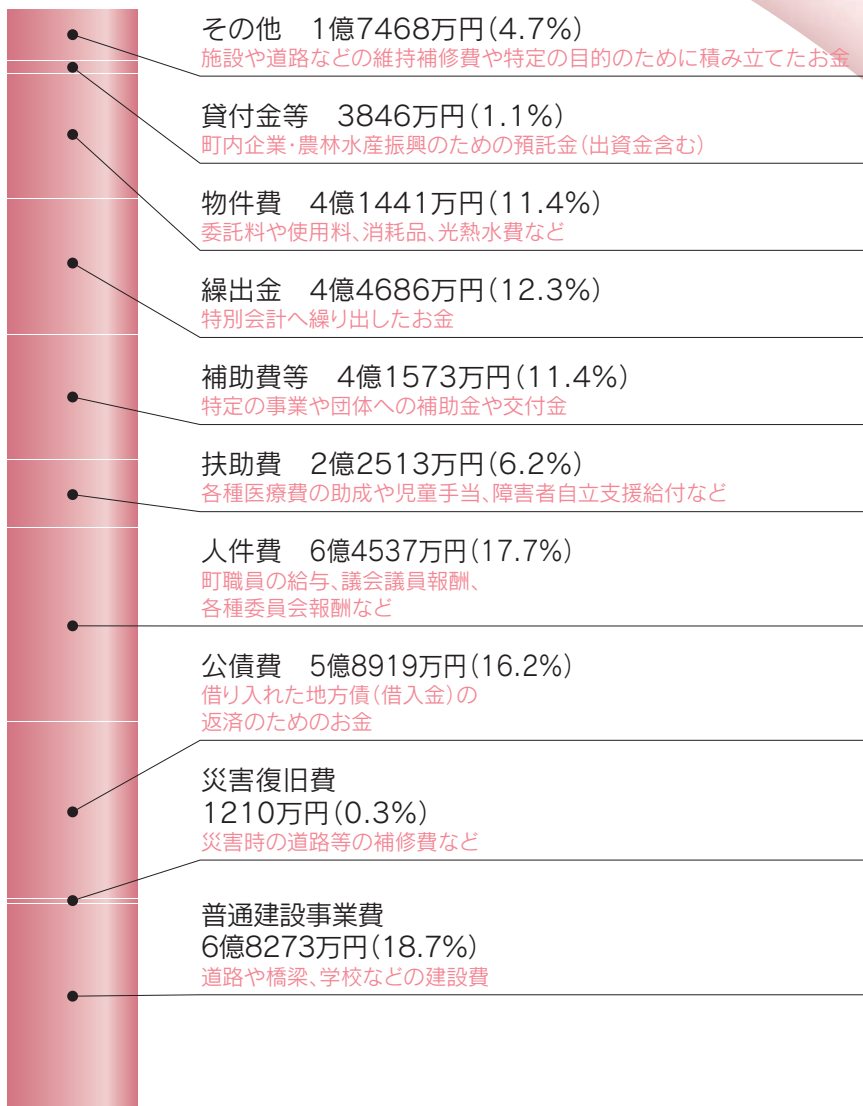
平成 23 年度の南木曾町一般会計（平成 22 年度繰越事業を含む）・特別会計の決算が、9 月の定例議会において認定されました。一般会計の決算総額は歳入 37 億 7149 万円（前年度比 4.4%減）、歳出 36 億 4466 万円（4.1%減）で差引き 1 億 2683 万円となりました。

差引額から繰越事業に係る財源を除いた実質収支は 7255 万円となり、このうち 4000 万円を決算積立金として財政調整基金へ積み立てました。この結果、3255 万円が 24 年度への純繰越金となります。

22年度 歳出 38億366万円



23年度 歳出 36億4466万円



主な事業

南木曾小学校第3期改築事業（音楽棟・給食棟）、国

歳出 地域公共交通の見直しにより地域公共交通協議会への負担金が増加し、5259万円、議員年金制度見直しにより人件費が1923万円の増となりました。また、繰上償還及び借入の抑制により公債費は3470万円の減となりました。しかし、昨年度まで減少していた繰出金は、川向簡易水道の改良事業、入込客の減少による駐車場会計への繰出等により2214万円の増となりました。

歳入 もっとも大きな比率を占める地方交付税は、特別加算や税収の見込みなどにより164万円の増となりました。町税については、景気の低迷などの影響で法人税の減収により1927万円の減となりました。国県支出金については、南木曾小学校完了による補助金及び国の経済対策による交付金の減により全体では1億8508万円の減となりました。地方債では、地方交付税の不足分を補う臨時財政対策債を財政見直しにより昨年度同様、発行を抑えましたが、繰越事業分の借入により3800万円の増となりました。

一般会計

平成23年度 決算状況

町の家計簿

23年度 歳入 37億7149万円

22年度 歳入 39億4567万円

使用料及び手数料等 2億3823万円(6.4%)
保育料や町施設使用料、証明手数料など

諸収入 1億333万円(2.7%)
貸付金の元利収入など

繰入金 3540万円(0.9%)
基金の取り崩しや特別会計からの収入

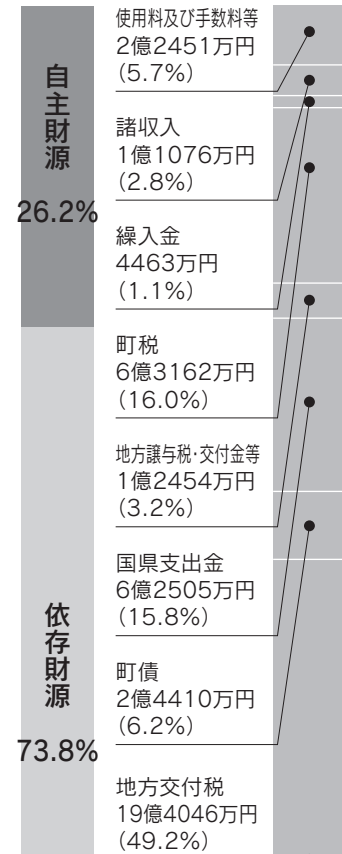
町税 6億1235万円(16.2%)
みなさんから納めていただいた町民税や固定資産税など

地方譲与税・交付金等 1億1801万円(3.1%)
税源移譲及び重量税・軽油税などを財源として地方に譲与されたお金

国県支出金 4億3997万円(11.7%)
特定の目的のために国や県から交付されたお金

町債 2億8210万円(7.5%)
町の借金のごとく。大規模な事業を行うため、国などから借り入れたお金

地方交付税 19億4210万円(51.5%)
町が標準的な仕事をする際に、不足する財源を町の財政状況に応じて国から交付されたお金



町税の内訳

税目	決算額
固定資産税	3億9800万円
町民税	1億8854万円
市町村たばこ税	987万円
その他	軽自動車税 1057万円
	入湯税 537万円
合計	6億1235万円

特別会計決算

会計名	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	5億3760万円	4億8741万円
簡易水道事業特別会計	2億1067万円	2億654万円
町営妻籠宿有料駐車場特別会計	4789万円	4648万円
下水道事業特別会計	6530万円	6477万円
農業集落排水事業特別会計	6860万円	6801万円
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	7084万円	6993万円
後期高齢者医療特別会計	6999万円	6761万円
合計	10億7089万円	10億1075万円

特別会計は7会計で、歳入の合計が10億7089万円、歳出の合計が10億1075万円となりました。主な事業としては、浄化槽市町村整備推進事業特別会計で、木曾川右岸地区及び三留野地区の浄化槽設置事業を引き続き実施しています。

特別会計

の経済対策であるきめ細かな交付金事業（ユアアイ住宅建設事業他）、過疎対策事業（町道島の平線開設他）を実施しました。